

【学校教育目標】

夢をもち 自ら学び 心豊かに たくましく生きる子
～主体的に学び、行動する子の育成～

【目指す子ども像】

★よく考える子★

- ・めあてをもち、主体的に学ぶ子
- ・よく聴き、しっかり伝える子
- ・進んで読書をする子

★なかよくできる子★

- ・素直で正直な子
- ・思いやりをもち、人を大切にする子
- ・挨拶がしっかりできる子

★チャレンジする子★

- ・心身ともに健やかな子
- ・進んで体を鍛える子
- ・失敗を恐れずに挑戦し失敗からも学ぶ子

★安全に気をつける子★

- ・きまりの価値を知り、進んで守る子
- ・健康的で安全な生活ができる子
- ・交通ルールを守る子

【4つのキーワード】 学力向上 人権教育の充実 主体性の育成 読書力アップ

【学力向上】

- ・基礎・基本の確実な習得
- ・「自ら学びに向かう力」を育む授業構築
- ・研究の日常化（算数）⇒日々の授業がかわる研究
- ・家庭での自学自習の習慣化への取組（あすいき学習）

【人権教育の充実】

- ・日々の学習の中で人権意識を育てる（なかまの日等）
- ・特別活動・児童会・生徒指導部との連携強化
- ・道徳教育との連動 ・いじめ防止観点の重視
- ・「さんづけ」の徹底 言葉遣い⇒言語環境

【主体性の育成】

- ・学習の中で主体性を育む⇔学級経営・学習規律
- ・特別活動・児童会・委員会活動の活性化（子どもを活かす）
- ・自己有用感・自己肯定感・自己効力感の育成
- ・異年齢集団による活動

【読書力アップ】

- ・教科学習と学校司書との連携強化
- ・さわやかタイムの活用（読書の質を上げる）
- ・読書への関心を高める環境整備
- ・図書委員会活動の活性化（図書部との連動）

★自己効力感

⇒自分のやり遂げたいことを、自分なりに努力すればやり遂げることができるのだという見通し

■重点的な取組

- (1) 学力実態の改善＝子どもの学力向上を図る。（『自ら学びに向かう力』を育む）
- ・ 基礎・基本の確実な習得とそれを活用していく力：思考力・判断力・表現力の育成
 - 授業研究の推進：算数科（６年目） ○板書の工夫・ノート指導の充実
 - 自学自習の習慣化 ○読書力の向上
- (2) 「豊かな人間性」、「心身共のたくましさ」の育成を図る。
- ・ 人権尊重の精神
 - 子どもの人権を徹底的に尊重する。
 - 子どもの人権意識を高め、個を大切にしたいよりよい集団の育成を図る。
 - 集団の中で個性を伸ばし、達成感を味わわせる特別活動の充実を図る。
 - ・ 規律ある生活習慣・ルールを守る態度の育成（『自ら律する力』を育む）
 - 学習規律の徹底を図る。
 - あいさつの徹底を図る。
 - 言語環境の充実
- (3) 校種間連携の促進
- ・ 九条中ブロック小中一貫教育の推進
 - 学力向上・生徒指導を中心とした連携 ○児童・生徒の交流
 - ・ 保育園との連携強化
 - 教育活動における連携
 - ・生活科の学習 ・総合的な学習 他
- (4) 安全教育の充実と教育環境の整備を図る。
- ・ 安全教育
 - 子どもの命を守りきる学校
 - ・交通安全指導（安全な登下校、自転車の安全利用）
 - ・日常的な安全指導（校内での過ごし方・廊下歩行・遊具の使い方・遊び方）
 - ・子どもの「規範意識」を育てる⇒大人がいないところでもルールを守れる子
 - ・PTAとの連携（休日の遊び方等の見守り…公園での遊び方、危険な遊び等）
 - ・南警察スクールサポーターとの連携
 - ② 環境整備
 - 落ち着いて学習に向かえる教室の環境整備・学級目標等の教室前面掲示の簡素化
 - 校内美化の励行…教職員も子どもと共に清掃活動に取り組む

【学校運営の柱】（学校教育の重点より）

- 1 子どもの命を守りきる
- 2 すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める
- 3 教育者としての職責を自覚し、専門性を高めるとともに、働き方改革を進める
- 4 校種間連携・接続を推進する
- 5 「困り」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う
- 6 保護者・地域と連携・協働した取組を推進する
- 7 関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する